

新型コロナウイルス関連 公開情報取りまとめ
～2020年4月29日（水）17時現在～

在サンパウロ日本国総領事館

1 サンパウロ州

4月29日（水）

- 29日（水）15時現在、州内の感染者数は前日比2117人（9%）増の2万6158人で、うちサンパウロ市が1万6638人、オザスコ市が701人、グアルーリョス市が666人と続く。死者数は同198人（10%）増の2247人で、うちサンパウロ市が1439人。全体の致死率は8.6%。感染が確認されたのは州内645市のうち313市、死者は144市、入院感染患者数は約8600人、州内ICUの占有率は68.7%（前日61.6%）、サンパウロ大都市圏内は同85.1%（同81%）と増加傾向が続く。この状況を踏まえ、州保健局長は同日、「我々は“ステイホーム”の重要性を強調せざるを得ない。マスクの着用も非常に重要。あなたのマスクは私を守り、あなた自身を守る」と説明。
- 29日（水）、サンパウロ州政府は、統一医療保険システム（SUS）に加盟する病院での重症感染患者の受入れが増加していることを踏まえ、3千台の人工呼吸器を外国から緊急購入したと発表。今週末（5月2日～3日）に最初の500台がサンパウロ市に到着し、サンパウロ大学附属クリニカス病院等に配置される。その後5月末までに毎週500台が州内各地の病院に届けられる予定。なお、同呼吸器は5億5千万リアルで中国から購入したと報じられている。
- 29日（水）、サンパウロ州政府及びサンパウロ市は5月4日（月）より、州内・市内の公共交通機関内でのマスクを義務化する政令・条例を30日（木）付で公布すると発表。タクシーやアプリでの配車にも適用される。州・市当局による取り締まりが行われ、マスクを着用していない乗客が乗車していた場合、バス会社やタクシーには警告、次に罰則が課されることになる。
- 29日（水）、サンパウロ州政府は5月1日（土）より、サンパウロ市内で3番目となる仮設病院（全268床）が稼働すると発表。場所はイビラプエラ公園近くの競技場内で、建設費は1200万リアル、維持費は1千万リアル/月。患者が家族等と連絡が取れるようWifi等を完備している。既に稼働中のパカエンブー競技場内及びアニエンビー国際展示場内の仮設病院と合わせ、全2268床が利用可能となる。なお、29日15時現在、両仮設病院の入院患者数は558人。
- 28日（火）のサンパウロ州内の社会的隔離実施率は引続き48%。50%以下は「黄信号」とされる。

2 マット・グロッソ州

4月29日（水）

- 29日（水）17時現在、州内の感染者数は前日比29人増の292人、うち州都クイアバ市が129人、ロンドノーポリス市が48人、シノピ市が19人と続く。入院患者数は15人。死者数は11人から変わらず。州内の感染患者向けICU病床の空きは引き続き99床、一般病床は402床。
- 29日（水）、同州政府は州内各市で30日（木）より手作りマスクと共に感染防止に向けた衛生管理方法等を纏めたパンフレットを配布するプログラム「Eu cuido de você, você cuida de mim」を開始すると発表。

3 マット・グロッソ・ド・スル州

4月29日（水）

- 29日（水）午前11時現在、州内の感染者数は前日比9人増の249人、うち州都カンポ・グランデ市が128人。死者数は9人から変わらず。同日付同州官報によると感染患者向けの病床は全1468床。
- 29日（水）、カンポ・グランデ市は3月21日（土）から実施中の夜間外出禁止措置を5月10日（日）まで延長と発表。但し対象時間は従来22時～5時から0時～5時に短縮。また、教会や寺院の活動は3月30日（月）より原則許可されていたものの、改めて29日より、この夜間外出禁止時間や高齢者、心臓や肺等で持病を持つ人等を除き、衛生対策を条件に最大60%の人数で活動を認めると発表。（了）